

平和を願って

読谷小学校 五年三組

大城

心椿

いう戦争がゆるかわりません。そんな

な私たちは平和にくらせています。でも、

45年前、アメリカ軍が沖縄を攻めてきました

わたしは過んでいる。読谷村にも攻めてきま

した。 ^体

私かきもんに思ったことは、なぜ沖縄が戦

場になったことですか。それは太平洋戦争で

日本は米軍の反げきを受けて次々に敗たいたし

ていきました。一九四三年九月、日本は戦争を

続けるために確保しなければならぬ区域と

して「絶対国防けん」を認定しました。44年

7月に「絶対国防けん」の重要な場所だ、

たハイパン島が米軍に攻め落とされます。次

に米軍がしんこうするのには沖縄だとはんたん

した日本は44年7月5、9月にかけて沖縄に第

32軍の部隊を送りこびました。米軍は45年3

月26日に^休がまし、島、4月1日に上陸しま

した。第32軍は米軍の本土しんこうをおくら

せるために沖縄でできるだけ足止めする持久

作戦をとりました。沖縄戦は、時間かせぎの

「捨てる石作戦」だった。このかわかりました。

私か、思ってた事は、けんかをしなければ戦

争なんておきないと思いましたが。

それかよ。それがけんかして、戦争になっ

て、意味のない人まで、死ころしてしまふことは

だめだと思っただけです。

けんかがない、戦争がない、世界になっただけ

、みんなが幸せに生きれると思いました。

新聞を読んで初めて知ったことは、沖縄戦

の戦没者数は二十万六千五百五十六人。そのうち

一般住民は約九万四千二人です。沖縄の人の

犠牲は十二万二千人を超えます。県民の4人

に一人がなくなっています。新聞を読んで初

めて知ったことです。

十二万二千人が沖縄戦でなくなっているとい

う記事をよく読んで、かわりがない人までまき

こんでしまふ戦争なんてせつないに、かわりな

いし、かわりせないようにしていきたいです。

私が、新聞を読んで学んだことは、戦争の

ときは、ご飯や水は食べたいけどない昔飲み

たいけどないといいう日口だったけど今は、お

なかがすいたら食べて、のこしたかったら、の

こすといいう世の中になつてきています。

今でも、ご飯が食べられていないところもある

ると考えたが、のこさずご飯を食べないとい

けないと思いましたが。

あと、二度と戦争はくり返してはいけません

と思いましたが、戦争で意味のない人までまき

こんでしまふ戦争は一生かりたくないです。

大切なことは、みんなが平和でいたいと願

うことだと、私は思っています。